



令和5年度供給教科書『中学保健体育』（保体704）訂正のお知らせ

株式会社 Gakken 学校・社会人教育事業部

令和5年度供給の弊社発行の教科書『中学保健体育』（保体704）の訂正についてお知らせいたします（以下
の下線及び囲み部分が該当箇所です）。関連箇所をご指導される際には、ご配慮くださいますようお願い申しあげ
ます。

※教科書紙面を縮小するなどして提示しています。

●9ページ 右上

訂正前



訂正後



●73ページ 下段左

訂正前



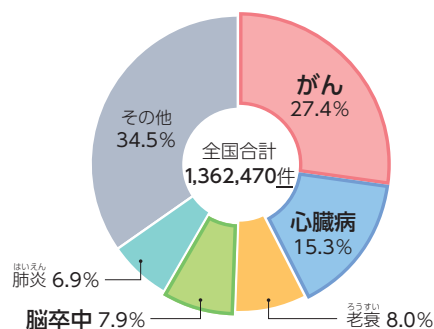
訂正後



●86ページ 資料1

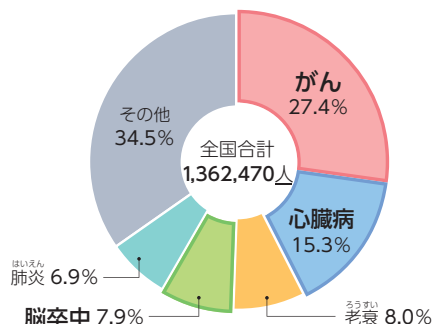
訂正前

資料1 日本人の死因（2018年）



訂正後

資料1 日本人の死因（2018年）



● 92 ページ 脚注

訂正前



ウェブサイト：厚生労働省の最新たばこ情報「たばこのリスク」



訂正後



ウェブサイト：健康・体力づくり事業財団の最新たばこ情報「たばこのリスク」



● 123 ページ 本文 9 行目

訂正前

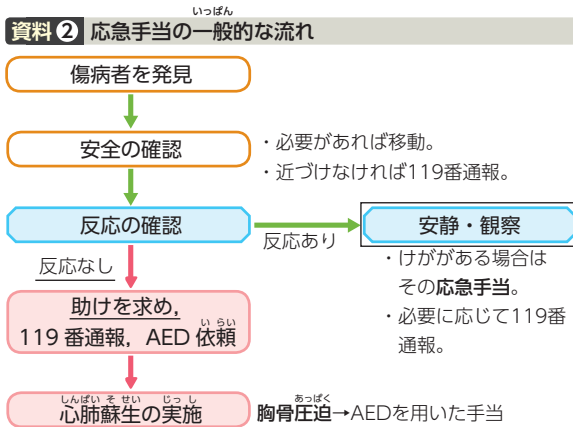
傷病者に近づけたら、反応の確認をし、反応があれば、止血などの応急手当を行います。反応がなければ、助けを求め、通報をし、心肺蘇

訂正後

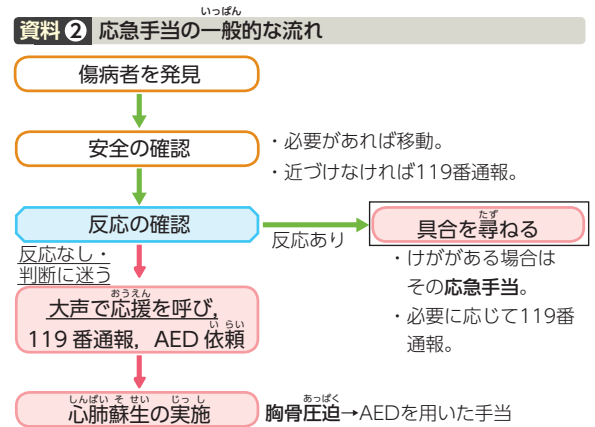
傷病者に近づけたら、反応の確認をし、反応があれば、止血などの応急手当を行います。反応がないか判断に迷う場合は、助けを求め、通

● 123 ページ 資料 2

訂正前

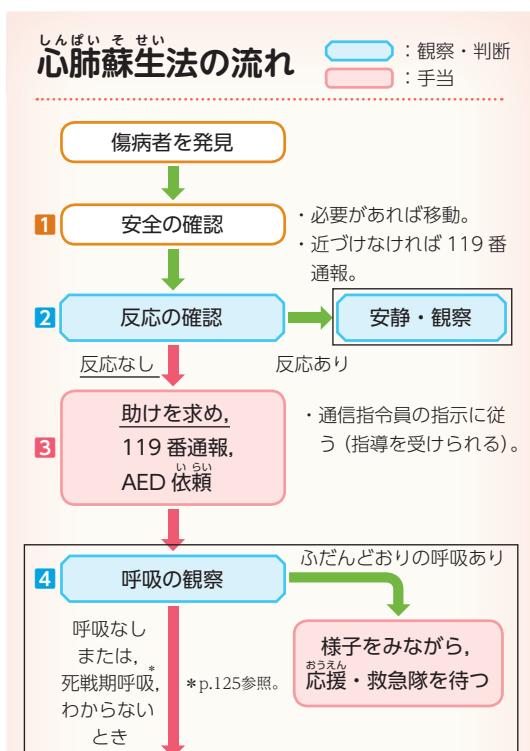


訂正後

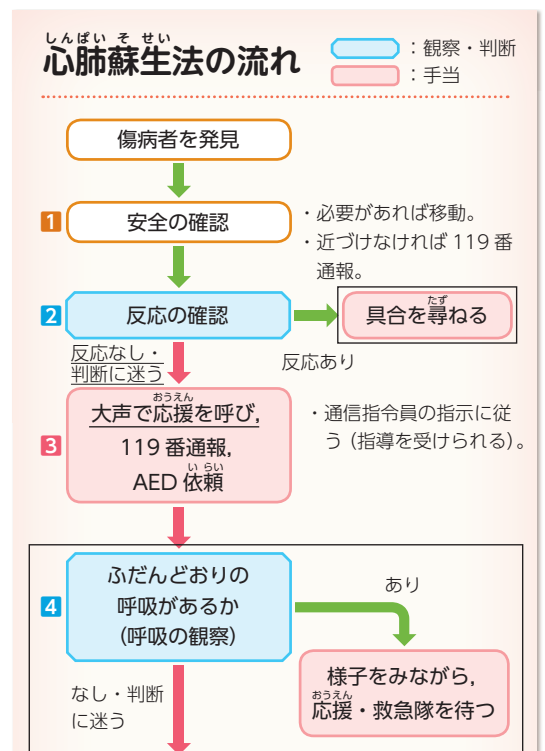


● 124 ページ 左段

訂正前



訂正後



● 124 ページ 右段

訂正前

●ポイントチェックシート

手順	項目	ポイント	チェック
1	安全の確認	周囲の安全を確認したか。	
2	反応の確認	肩を軽くたたきながら耳元で声をかけたか。	
3	協力の要請	手を挙げて大きな声で協力を要請できたか。 協力者に 119 番通報と AED を依頼できたか。	
4	呼吸の観察	胸と腹の動きを観察して呼吸を確認したか。 呼吸の確認に 10 秒以上かかっていないか。	
5	胸骨圧迫	正しい圧迫位置に手を置くことができたか。 両肘を伸ばして垂直に圧迫したか。 胸骨が約 5 cm 沈むように圧迫したか。 1 分間に 100～120 回の速さで圧迫したか。 中断せずに絶え間なく 30 回圧迫できたか。	

訂正後

●ポイントチェックシート

手順	項目	ポイント	チェック
1	安全の確認	周囲の安全を確認したか。	
2	反応の確認	肩を軽くたたきながら耳元で声をかけたか。	
3	協力の要請	手を挙げて大きな声で協力を要請できたか。 協力者に 119 番通報と AED を依頼できたか。	
4	ふだんどおりの呼吸があるか (呼吸の観察)	胸と腹の動きを観察して呼吸を確認したか。 呼吸の確認に 10 秒以上かかっていないか。	
5	胸骨圧迫	正しい圧迫位置に手を置くことができたか。 両肘を伸ばして垂直に圧迫したか。 胸骨が約 5 cm 沈むように圧迫したか。 1 分間に 100～120 回の速さで圧迫したか。 中断せずに絶え間なく 30 回圧迫できたか。	

● 125 ページ 左段3

訂正前

3 助けを求め、119 番通報、AED 依頼

3 大声で応援を呼び、119 番通報、AED 依頼

訂正後

● 125 ページ 左段4

訂正前

4 呼吸の観察

- 傷病者の胸や腹部の動きを観察して、呼吸を確認する。
- ※呼吸の確認に 10 秒以上かけないようにする。
- ※死戦期呼吸（しゃくり上げるような不規則な呼吸）は、呼吸なしと判断する。
- ※わからないときは、胸骨圧迫を開始する。



4 ふだんどおりの呼吸があるか (呼吸の観察)

- 傷病者の胸や腹部の動きを観察して、ふだんどおりの呼吸があるか確認する。
- ※呼吸の確認に 10 秒以上かけないようにする。
- ※呼吸なし、または判断に迷うときは、胸骨圧迫を開始する。
- ※死戦期呼吸（しゃくり上げるような不規則な呼吸）は、ふだんどおりの呼吸ではない。



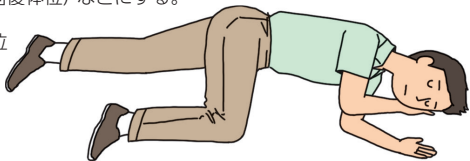
● 126 ページ 左段下

訂正前

安静・観察

- ・ 楽な姿勢（回復体位）などにする。

●回復体位



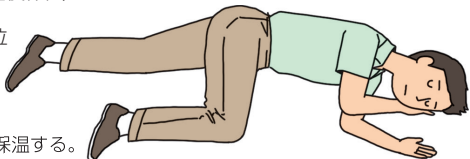
- ・ 毛布などで保温する。
- ・ 傷病者を元気づける。
- ・ けががある場合は、その手当をする。

訂正後

回復体位

- ・ 反応はないが、ふだんどおりの呼吸をしている傷病者は、横向きに楽な姿勢（回復体位）などにする。

●回復体位



- ・ 毛布などで保温する。
- ・ 傷病者を元気づける。
- ・ けががある場合は、その手当をする。

● 172 ページ 資料2

訂正前

資料② 望ましい気温などの範囲 (教室)

気温 17 ～ 28℃

湿度 30 ～ 80%

気流 0.5m/ 秒以下



(学校環境衛生基準による)

訂正後

資料② 望ましい気温などの範囲 (教室)

気温 18 ～ 28℃

湿度 30 ～ 80%

気流 0.5m/ 秒以下



(学校環境衛生基準による)

● 174 ページ 考える・調べる

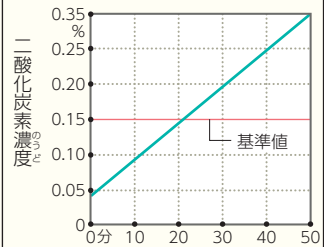
訂正前

考える・調べる

読み取る・考える

右のグラフは、閉め切った教室で40人が授業を受けた場合の二酸化炭素の濃度を算定したものです。時間がたつにつれて、どうなっていますか。また、この状態でさらに時間がたつと、どうなると考えられますか。

見方 **考え方** 基準値に着目して考えてみよう。



*教室の容積180m³、中学生40人、教師一人、始業時の二酸化炭素濃度0.04%、全く空気の入れ換えが行われなかった場合。

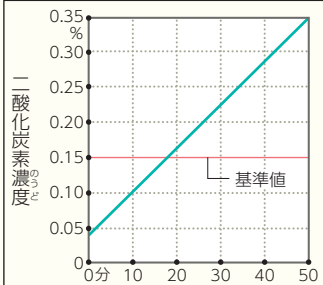
訂正後

考える・調べる

読み取る・考える

右のグラフは、閉め切った教室で40人が授業を受けた場合の二酸化炭素の濃度を算定したものです。時間がたつにつれて、どうなっていますか。また、この状態でさらに時間がたつと、どうなると考えられますか。

見方 **考え方** 基準値に着目して考えてみよう。



*教室の容積180m³、中学生40人、教師一人、始業時の二酸化炭素濃度0.04%、全く空気の入れ換えが行われなかった場合。

● 175 ページ 側注4

訂正前

4 学校環境衛生基準では0.001%以下となっているが、検出されないことが望ましい。

訂正後

4 学校環境衛生基準では0.0006%以下となっているが、検出されないことが望ましい。